

科目名	エステティック実習実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原 直美		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	282	
授業概要、目的、授業の進め方	ボディ技術の習得 お客様への接客・気配りを養う					
学習目標 (到達目標)	修了試験合格を目指す					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワソワエステティックテキスト・講師オリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
4月	ワゴン・ベッドのセッティングの仕方、モデルの誘導の仕方			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
5月上旬	下肢後面デモ、下肢後面技術			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
5月中旬	背部デモ、背部・下肢後面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
5月下旬	背面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
6月上旬	背面技術チェック			下肢・背部の相モデルでの技術チェック		
6月中旬	下肢前面デモ、下肢前面技術			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
6月中旬	上肢デモ、上肢・下肢前面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
6月下旬	腹部・胸部・頸部・頭部デモ、腹部・胸部・頸部・頭部・上肢技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
7月上旬	前面技術チェック			下肢前面・上肢・腹部・頸部・胸部・頭部の相モデルでの技術チェック		
9月上旬	背面・前面技術チェック			夏季休暇後の実習授業で技術チェックを行う		
9月～10月	各部位の技術練習			不得意な技術を強化練習する		
11月	トータル技術練習			実技試験の流れで練習する		
12月中旬	修了実技試験			相モデルでの実技試験		
1月上旬	ポイントクレンジングのデモ、ウィックでポイントメイクの練習			オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習		
1月中旬	クレンジングのデモ、ウィックでクレンジングの練習			オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習		
1月下旬	丸スポンジ・ホットタオルの拭き取り方デモ、ウィックでの拭き取りの練習			オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習		
2月	ポイントクレンジング・全体クレンジング・拭き取りの実技練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 40%、学習意欲 30% レポート % 出席率 30%				技術習得はもちろんだが、相手への気配りや心配りも大切な事を意識させる。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

科目名	エステティック実習実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	田伏 澄子・原 直美		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	395	
授業概要、目的、授業の進め方	フェイシャル技術の習得と日本スパ・ウエルネス協会ビューティセラピストの実技試験に向け試験対策を行っていく。					
学習目標 (到達目標)	日本スパ・ウエルネス協会ビューティセラピストの実技試験の合格 卒業後サロンで働く際に必要な技術、心配りの習得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本スパ・ウエルネス協会テキスト 講師作成テクニクテキスト、使用化粧品成分表					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
4月	ポイントクレンジング、全体クレンジング、拭き取り		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導			
5月	ポイントクレンジング、全体クレンジング、拭き取り、マッサージ		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導			
6月	マッサージ、ローションマスクシート		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導			
7月	マッサージ、肌分析（ウッドランプ、拡大鏡）		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導			
9月	ディープクレンジング		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導			
10月	ディープクレンジング、電気機器、パック		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導			
11月	試験対策		ポイントクレンジング～仕上げまでに行い修正していく。施術中の口頭試問もおこなっていく			
12月	試験対策		ポイントクレンジング～仕上げまでに行い修正していく。施術中の口頭試問もおこなっていく			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 30%、学習意欲30% レポート % 出席率40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			フェイシャル技術の基本を身につけることで、サロンに行った際にスムーズにお客様対応が出来るようになるので、1つ1つの意味合いを理解した上で身につけるようにしてください。			
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5~12年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

科目名	アロマ					【対面授業のみ実施】
担当教員	田中 ようこ・田伏 澄子		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年間	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	58	
授業概要、目的、授業の進め方	1年次ではアロマセラピーに関する学習 2年次では検定に向けての検定対策授業を行う					
学習目標 (到達目標)	アロマセラピー検定1級合格					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	アロマ環境協会 公式テキスト1級					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	アロマセラピーについて		公式テキスト1級P9～18 ルームフレッシュナー			
2	精油の基礎知識		公式テキスト1級P27～37			
3	アロマセラピー利用法		公式テキスト1級P83～110			
4	アロマセラピーのメカニズム		公式テキスト1級P19～26			
5	ハンドメイドソープ		石鹸をつくる実習			
6	アロマセラピーと歴史		公式テキスト1級P135～150			
7	アロマセラピーと健康		公式テキスト1級P111～132・発泡バスソルト			
8	アロマセラピーと地球環境		公式テキスト1級P151～165			
9	アロマセラピーに関する法律		公式テキスト1級P167～174			
10	日本アロマ環境協会について		公式テキスト1級検定について・ハンドトリートメント実践			
11	検定対策		まとめシートの作成			
12	検定対策		まとめシートの作成			
13	検定対策、アロマトリートメント(手浴)		まとめシートの作成			
14	検定対策、アロマトリートメント(足浴)		まとめシートの作成			
15	検定対策、アロマトリートメント(ボディマッサージ)		模擬テスト			
16	検定対策		模擬テスト			
17	検定対策		模擬テスト			
18	検定対策		模擬テスト			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験30%、実技試験 %、学習意欲30% レポート % 出席率40%			各精油の効果・効能・注意点をよく理解し効果的に使用していく。			
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴	アロマセラピーショップとスクールを経営、現場の知識と技術の指導が可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	脱毛					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	19	
授業概要、目的、授業の進め方	技術の習得、安全と衛生に注意し準備・施術を行う					
学習目標 (到達目標)	ワックス脱毛の技術を知る					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	講師オリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	ワックス脱毛授業についての説明		P1～6			
2	施術の流れの説明		P1～6			
3	相モデルで実習		P1～6			
4	相モデルで実習		P1～6			
5	相モデルで実習		P1～6			
6	技術チェック		P1～6			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 % レポート % 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			実習授業になるので、禁忌事項や使用上の注意事項を理解させて行う。			
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	タイ古式マッサージとは、タイ古式マッサージの歴史		【対面授業のみ実施】		
担当教員	寺尾 奈穂子		実務授業の有無	○	
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	幅広いエステティックのテクニックを知る。				
学習目標 (到達目標)	手技の効果、ツボの位置、体重の掛け方を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員のオリジナルテキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	タイ古式マッサージとは、タイ古式マッサージの歴史		講師のオリジナルテキストを使用するP1~12		
2	実技 下肢前面		講師のオリジナルテキストを使用するNO.1~29		
3	実技 後面		講師のオリジナルテキストを使用するNO.30~58		
4	実技 背部		講師のオリジナルテキストを使用するNO.59~86		
5	実技 全身		講師のオリジナルテキストを使用するNO.1~86		
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			普段行っているベッドの上ではないので、ツボの位置や体重の掛け方が違うので注意をして行う。		
実務経験教員の経歴	タイ古式サロンを経営、現場の知識と技術の指導が可能。				

科目名	ボディ機器					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美・田伏 澄子		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、授業の進め方	<p>器械を使用する事でハンドテクニックでは出来ない事を知る。            学校にあるボディに関する機器の種類を使用方法・効果を把握する。</p>					
学習目標 (到達目標)	それぞれの機器を使用して使用方法を把握する。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員のオリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	G5機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP1～6		
2	G5機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP1～6		
3	G5機器デモンストレーション			オリジナルテキストP1～6		
4	G5機器実習			オリジナルテキストP1～6		
5	G5機器実習			オリジナルテキストP1～6		
6	G5機器実習			オリジナルテキストP1～6		
7	低周波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP7～11		
8	低周波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP7～11		
9	低周波機器のデモンストレーション			オリジナルテキストP7～11		
10	低周波機器実習			オリジナルテキストP7～11		
11	低周波機器実習			オリジナルテキストP7～11		
12	低周波機器実習			オリジナルテキストP7～11		
13	超音波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP12～14		
14	超音波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP12～14		
15	超音波機器のデモンストレーション			オリジナルテキストP12～14		
16	超音波機器の実習			オリジナルテキストP12～14		
17	超音波機器の実習			オリジナルテキストP12～14		
18	超音波機器の実習			オリジナルテキストP12～14		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 0%、実技試験 0%、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%  成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				ハンドテクニックとは違い、電気を使用する為、相モデル同士で十分に注意をさせる。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	モニター実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美・田伏 澄子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	14	
授業概要、目的、授業の進め方	サロン名・メニュー決め 準備物の作成 ロープレ モニターサロン実習					
学習目標 (到達目標)	クラスで協力し、保護者の方に向けてサロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
2	準備物の作成			実習・制作		
3	ロープレ			実習		
4	保護者に対してのモニターサロン運営			実習		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%				店長を中心に、話し合いを行いながら進めていく。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができる。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにする。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						



科目名	エステ理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原 直美			実務授業の有無	○	
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	87	
授業概要、目的、授業の進め方	エステティシャンに必要な解剖生理学や栄養学を学び、カウンセリングに必要な知識を身につける。					
学習目標 (到達目標)	修了実技試験の口頭試問やカウンセリングでのアドバイスに答えられる					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・人体解剖図					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
4月	エステティック概論・骨・筋肉			ソワンエステティックテキストP9～16、P29～40		
5月	細胞・組織・血液・体液・循環器・免疫・骨・筋肉			ソワンエステティックテキストP10～28、P56～66、P29～40		
6月	呼吸器・泌尿器・内分泌系・栄養			ソワンエステティックテキストP67～77、P93～126		
7月	内分泌系・栄養			ソワンエステティックテキストP74～77、P93～126		
9月	生殖系系・神経系・消化器			ソワンエステティックテキストP82～97、P127～131		
10月	感覚器・皮膚・ホメオスタシス			ソワンエステティックテキストP98～114		
11月	応用・復習					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 40%、実技試験 %、学習意欲 30% レポート % 出席率 30% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				エステティシャンにとって解剖生理学を学ぶ事でお客様の施術やアドバイスに必要な事を意識させる。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

②

## 国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	エステ理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	田伏 澄子		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	98	
授業概要、目的、授業の進め方	エステティシャンに必要な皮膚学・化粧品学・栄養学を中心に学び、カウンセリングやコース提案に必要な知識を身につける。					
学習目標 (到達目標)	日本スパ・ウエルネス協会のビューティセラピスト試験の口頭試問が答えられる					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
4月	皮膚の構造、皮膚の生理機能		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト Ⅲ p 7～p 23、p 30～p 40			
5月	トラブル別症状		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト Ⅲ p 41～p 62			
6月	皮膚科学フェイシャル編		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト Ⅵ p 7～p 39			
7月	皮膚科学フェイシャル編・化粧品の原料・成分		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト Ⅵ p 7～p 40、Ⅲ p 71～p 88			
9月	基礎化粧品、フェイシャル化粧品		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト Ⅲ p 89～p 91、Ⅵ p 73～p 93			
10月	栄養学フェイシャル編		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト Ⅵ p 127～p 138			
11月	栄養学フェイシャル編、試験対策		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト Ⅵ p 127～p 139			
12月	試験対策		日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験30%、実技試験 %、学習意欲30% レポート20% 出席率20%			エステティシャンにとって身体のこと、皮膚のこと、使っている化粧品の成分などの知識を身につけることで、お客様に1人1人にあったアドバイスが出来るようになり、より信頼されるエステティシャンになれます。			
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5～12年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	カウンセリング					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美、田伏 澄子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	42	
授業概要、目的、授業の進め方	エステティックの理解、考える力をつける					
学習目標 (到達目標)	修了試験に向けて、アドバイスが出来る状態					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワソワエステティックテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
5月～7月	カウンセリングについての基礎			テキストP115～150使用、カウンセリングの大切さを説明する		
7月	症状別（冷え・浮腫み・セルライトなど）について			テキストP115～150使用、講師が用意したプリントを使用		
9月～11月	実習をしながら相モデルで実際に行う			実習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%  成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				エステティシャンとして技術だけではなく、カウンセリングの力が必要な事を意識させる。		
実務経験教員の経歴						

科目名	メイク実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	濱田 裕美子		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	セルフメイク・相モデルメイクの基礎 エステティシャンらしいメイクの仕方					
学習目標 (到達目標)	メイクの基礎を学ぶ					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	デモ・メイクアップの基礎理論・顔分析		ソワンエステティックテキストP7～15			
2	スキンケア・ベースメイクのデモ&実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
3	基本テクニック・デモ&実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
4	ソフトメイク・デモ&実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
5	ソフトメイク・相モデル実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
6	ソフトメイク・相モデル実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
7	シャープメイク・デモ&実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
8	シャープメイク・相モデル実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
9	シャープメイク・相モデル実習		ソワンエステティックテキストP16～30			
10	確認テスト					
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 30%、学習意欲 30% レポート % 出席率 40%			相モデルでの実習になるので、相手への気配り等を意識させる。			
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

科目名	ネイル実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	平 知香子		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	ケア・カラーリング・アートの基礎を学ぶ					
学習目標 (到達目標)	ネイル検定3級受験が出来る状態					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAネイルテキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	爪の構造・皮膚科学・ラウンドの説明・道具のセッティングの仕方		JNAネイルテキストP7～28			
2	爪の病気とトラブル・衛生と消毒・ネイルケアのデモ		JNAネイルテキストP30～38			
3	相モデルでのポリッシュオフ		JNAネイルテキストP75			
4	チップでカラーリング・フラットアート		JNAネイルテキストP118～134			
5	相モデルでのポリッシュオフ・チップでカラーリング		JNAネイルテキストP75～82			
6	相モデルでポリッシュオフ・カラーリング・アート		JNAネイルテキストP75～82・P118			
7	相モデルでポリッシュオフ・カラーリング・アート		JNAネイルテキストP75～82・P118			
8	カラーリング・アートタイムトライアル		相モデルでの実習			
9	筆記テスト・カラーリングタイムトライアル		相モデルでの実習			
10	実技テスト		相モデルでの実技テスト			
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 30%、学習意欲 30% レポート % 出席率 40%			相モデルでの実習になるので、相手への気配り等を意識させる。			
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	修了制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	14	
授業概要、目的、授業の進め方	サロン名・メニュー決め 準備物の作成 ロープレ モニターサロン実習					
学習目標 (到達目標)	クラスで協力し、保護者の方に向けてサロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
2	準備物の作成			実習・制作		
3	ロープレ			実習		
4	保護者に対するモニターサロン運営			実習		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%  成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				店長を中心に、話し合いを行いながら進めていく。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができる。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにする。		
実務経験教員の経歴						



②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	ダイエット					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	95	
授業概要、目的、授業の進め方	ダイエット検定2級合格 様々な世代のお客様に精通するスリミング知識を習得					
学習目標 (到達目標)	ダイエット検定2級取得 プランニングをして結果を出す					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ダイエット検定2級テキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	ダイエットとは・現代ダイエットの基礎知識、臀部・バスト実技		ダイエット検定2級テキストP29～43 臀部・バストを相モデルで実技			
2	体脂肪の基礎知識、カロリーコントロールの基本、下肢・臀部実技		ダイエット検定2級テキストP45～58 下肢・臀部を相モデルで実技			
3	カロリーコントロールの不確定要素・リバウンドに関して、背部・バスト実技		ダイエット検定2級テキストP60～72 下肢・臀部を相モデルで実技			
4	リバウンドに関して・無理なダイエットを起こす弊害、下肢前面・腹部実技		ダイエット検定2級テキストP73～88 下肢前面・腹部を相モデルで実技			
5	過去問題、G5機器		過去問題を行う 相モデルでG5機器の実習			
6	過去問題		検定対策授業			
7	過去問題		検定対策授業			
9月～11月	スリミング実習、プランニング		ペアになり、期間内で理想体型にする			
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			検定合格が必須の為、合格するようダイエット検定の必要性を意識させる。後期はペアでプランニングをしていくので、結果が大切な事を意識させる。			
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					



②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	トータルマナー					【対面授業のみ実施】
担当教員	廣川 奈津子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、授業の進め方	表現力豊かな人を育成、柔軟な感性・身体を育てる					
学習目標 (到達目標)	健康で美しく、知性・気品洗礼されたエステティシャンを目指す					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エステティシャンの為の運動生理学					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	運動の実際について、ストレッチ			テキストP60～61、P62～67		
2	運動の実際について、身体バランス			テキストP60～61、P62～67		
3	正しい美しい姿勢について、姿勢のポイント			テキストP60～61、P62～67		
4	美しく健康な歩き方について、ウォーキングのポイント			テキストP60～61、P62～67		
5	センスアップセミナー、好印象を与える美しい表情			テキストP60～61、P62～67		
6	挨拶と立ち振る舞い			テキストP60～61、P62～67		
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%  成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				エステティシャンとして技術だけではなく、姿勢や立ち振る舞いなども大切な事を意識させる。		
実務経験教員の経歴						

科目名	サービス接客検定対策					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原 直美		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	24	
授業概要、目的、授業の進め方	サービス接客実務について初歩的な理解を持ち、基本的なサービスを行うのに必要な知識、技能を持たせる。					
学習目標 (到達目標)	サービス接客検定3級合格					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サービス接客検定3級受験ガイド・過去問題プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	サービススタッフの資質		サービス接客検定3級受験ガイドP12～34			
2	専門知識		サービス接客検定3級受験ガイドP40～55			
3	一般常識		サービス接客検定3級受験ガイドP62～70			
4	対人技能		サービス接客検定3級受験ガイドP74～102			
5	実務技能		サービス接客検定3級受験ガイドP106～123			
6	過去問題		第30・31回の過去問題を行う			
7	過去問題		第32・33回の過去問題を行う			
8	過去問題		第34・35回の過去問題を行う			
9	過去問題		第36・37回の過去問題を行う			
10	過去問題		第38・39回の過去問題を行う			
11	過去問題		第40・42回の過去問題を行う			
12	過去問題		第43・44回の過去問題を行う			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%			一般的な接客マナーやサービスに関する検定なので、エステティックとは少し異なる部分もある事を認識させる。			
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

科目名	サービス接客検定対策					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	田伏 澄子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	26	
授業概要、目的、授業の進め方	サービス接客検定2級の演習問題を行い、出題傾向につかんでいく。					
学習目標 (到達目標)	サービス接客検定2級合格。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サービス接客検定問題集、模擬問題					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	模擬問題			サービス接客検定問題集		
2	模擬問題			サービス接客検定問題集		
3	模擬問題			サービス接客検定問題集		
4	模擬問題			模擬問題		
5	模擬問題			模擬問題		
6	模擬問題			模擬問題		
7	模擬問題			模擬問題		
8	模擬問題			模擬問題		
9	模擬問題			模擬問題		
10	模擬問題			模擬問題		
11	模擬問題			模擬問題		
12	模擬問題			模擬問題		
13	模擬問題			模擬問題		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 % レポート % 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				接客業をする上でサービス接客を身につけておくと、より顧客満足をいただける接客が出来るようになります。		
実務経験教員の経歴						

科目名	就職実務					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原直美・田伏澄子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	115	
授業概要、目的、授業の進め方	就職に対しての心構えを身につけ、就職活動に必要な事柄を計画的に学ぶ。 座学形式、グループディスカッション、模擬面接形式、ロールプレイングなど					
学習目標 (到達目標)	就職に対しての心構えを身につける。 就職活動に必要な知識を習得し、採用試験で活かす。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	『実践ビジネスマナー』、『SUCCESS』、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
5月	社会人としての心構え、身だしなみ、敬語			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P8～30		
6月	来客対応、接遇			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P32～55、ロールプレイング		
7月	期末試験対策（敬語、席次について）			『実践ビジネスマナー』、補助プリントに沿って指導		
9月	求職登録について 動機付け、自己分析			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P6～26		
10月	自己PR作成、求職登録票作成			補助プリントに沿って指導、作成		
11月	求職登録面接練習（入退室、受け答え）			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P66～69		
12月	就職活動の流れ、企業研究の仕方			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P14～15		
1月	履歴書の書き方、報告書、提出書類の作成			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P52～58		
2月	企業訪問について（アポイントメント、お礼状）			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P59～64		
4月	就職ガイダンス企業研究			就職ガイダンス企業一覧、求人票をみながら研究		
5月	志望動機、自己PRのブラッシュアップ			講義、補助プリントに沿って作成		
6月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
7月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
1月	社会人としての心構え、接遇			卒業生の講話、ロールプレイング		
2年次前期	就職活動の進捗状況により履歴書書き、面接練習			勝つための就職ガイドsuccess活用・添削		
2年次後期	卒業生の就職先での話を聴いて就職意識を高めていく。			セミナー		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%				自らの進路に向けて就職意識を持ち、受ける事。 授業で習得したことを日常生活に活用し実践すること。 また、就職意識を高め入社してから自分が働きやすい環境作りをしていく。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						



②

科目名	総合人間性学習		【対面授業と遠隔授業の併用実施】		
担当教員	原 直美・田伏 澄子		実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	86
授業概要、目的、授業の進め方	物事の考え方を学び人間力を上げていく				
学習目標 (到達目標)	人間力を上げる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
	1年次				
4月	実践行動学part1		実践行動学テキスト グループディスカッション		
5月	関東研修		研修		
12月	実践行動学part 2		実践行動学テキスト グループディスカッション		
	2年次				
5月	田ノ浦研修		研修		
12月	海外研修		研修		
1月	実践行動学part3		実践行動学テキスト グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%			グループディスカッションを行うことで自分の意見を相手に伝える力が身に付き、また傾聴力と他を受け止める力を身につけることができます。		
実務経験教員の経歴					